

質問第一七七号

圏央道高尾山トンネル工事に関する質問主意書

右の質問主意書を国会法第七十四条によつて提出する。

平成二十年六月十九日

小
池
晃

参議院議長 江田 五月 殿

圏央道高尾山トンネル工事に関する質問主意書

昨年五月、圏央道高尾山トンネル工事が開始され、一年が経過した。高尾山トンネル施工区間は、明治の森高尾国定公園に指定されている。高尾山は、先に工事が終了した八王子城跡に比べ、一層水涸れを招きやすい地質構造であり、高尾山トンネル工事による高尾山の地下水脈や生態系に及ぼす影響が強く懸念されている。昨年十月には、自然公園第一種地域でも水涸れが発生する事態も起こった。

さらに、本年三月二十六日、圏央道城山八王子トンネル北側坑口で土砂崩落事故が発生した。事故後、自然保護団体の代表らとともに崩落の原因について、トンネル付近の水涸れなど地下水の変動との関連をたどると、国土交通省側は「まだ調査中で、分析できておらず、水涸れとの関連も説明できる状態にない」と述べた。城山八王子トンネルをめぐる崩落調査委員会が原因の究明を始めているが、結論がでないまま、トンネル工事は今も続いている。

そこで、明治の森高尾国定公園特別地域を貫く圏央道高尾山トンネル工事に関連して、以下質問する。

一 高尾山・八王子城跡を守る自然保護七団体の調査によれば、圏央道高尾山トンネル南坑口付近の沢の下流部での水涸れは、昨年十月十五日、東京都収用委員会による現地調査の際に初めて確認され、その後四

月までに五度にわたって発生しているが、政府は把握しているか。

また、妙音谷にある前の沢の支流でも三月、降雨後もわき水が出てこないという水涸れが起きた。同団体の調査によれば、トンネル掘削が進む現場と水涸れ地点がほぼ一致しているとしている。政府はこの問題を把握しているか。それぞれの水涸れの原因として考えられるものは何か。原状回復の方策とあわせて見解を明らかにされたい。

二 高尾山トンネルの現在の掘削進度を明らかにされたい。

三 高尾山トンネル工事現場における湧水量の測定を行っているか。現在の一日あたりの湧水量と、これまでの湧水量の総計を明らかにされたい。また、行っていないとすれば、その理由を明らかにされたい。

四 高尾山深部の地下水位について、私が提出した圏央道高尾山トンネル掘削に伴う国定公園への影響に関する質問主意書に対する答弁書（内閣参質一六八第七三号）で、「現在は、地山の深部における地下水位については、観測を行っていないが、今後、トンネルの施工に伴い必要な地質データを把握するために実施するボーリング調査と併せて、観測を行うことについて検討したい。なお、トンネルの施工による影響を受けない九箇所地下水位の観測孔においては、今後とも継続的に観測を行うこととしている」と答弁

している。

ボーリング調査と併せて行う観測についてはどのように検討されたのか。観測が行われていれば、その結果とともに明らかにされたい。また、「九個所の地下水位の観測孔」の観測データについて、観測開始時から直近に至るまでのデータを明らかにされたい。

五 高尾山トンネル工事の前提となる八王子城跡トンネルの地下水位の回復について、私が提出した圏央道八王子城跡トンネル建設と国指定史跡八王子城跡の環境保全に関する質問主意書に対する答弁書（内閣参質一六八第七二号）で、「観測孔2の地下水位は、平成十九年二月八日以降上昇傾向を示しており、今後質一六八第七二号）で、も徐々に上昇し、将来的には安定するものと考えている」と答弁した。そこで、前回答弁後の観測孔2の地下水位についてすべてのデータを明らかにされたい。

また、その結果が「今後も徐々に上昇し、将来的に安定する」という答弁内容に沿うものとなっているのか、政府の見解を明らかにされたい。

六 相武国道事務所が公表しているデータによれば、八王子城跡トンネル工事による観測孔2の地下水位は、いまだに原状回復ができていない。答弁内容と異なる結果になっていることについて、政府の見解を

示されたい。また、八王子城跡トンネル工事実績を前提にした高尾山トンネル施工方法の前提が崩れたことを意味するのではないか。高尾山トンネル工事については、八王子城跡トンネルの地下水位の現状をふまえた新たな対応が求められていると考えるが政府の見解を明らかにされたい。

七 圏央道城山八王子トンネル抗口崩落調査委員会の調査で、崩落の原因は解明されたのか。原因及び今後の対策について、明らかにされたい。

八 二〇一〇年には生物多様性条約第十回締約国会議が愛知県で開催されようとしている。高尾山には、樹齢百年にも及ぶブナをはじめ、植物種は千三百二十余、昆虫は実に五百種を数えると言われている。また、野鳥は百五十種、日本に生息或いは渡来する野鳥のうち三十パーセントを高尾山で見ることができ、まさに貴重な、世界でも希有な生態系と言える。

このような高尾山は、生物多様性の上でも貴重な自然環境であるという認識が政府にはあるか。COP10開催国としても、生物多様性の宝庫である高尾山の自然に大きな影響を与えるトンネル工事の見直しが求められているのではないか。

右質問する。